

第7回医療者がリードする 「がん患者力向上」のためのワークショップ



-Patient Empowerment Program-

参加者募集案内

開催日時

2025年12月20日(土) ~ 12月21日(日)



会場: エールエールA館6階 貸会議室
広島県広島市中区橋本町5-11



患者力とは

自分の病気を医療者任せにせず、自分事として受け止め、いろいろな知識を習得したり、医療者と十分なコミュニケーションを通じて信頼関係を築き人生を前向きに生きようとする患者の姿勢

Patient Empowermentとは

患者が、患者力を自主的に発揮できるように、医療者が援助すること

対象: 全国のがん医療に携わる医療従事者 60名

参加費: お一人8,000円

申込期間: 2025年10月1日(水) ~ 2025年11月30日(日)

※定員に達したところで受付を終了とさせていただきますこと、ご了承ください。

参加の可否については改めて事務局からご連絡させていただきます。

参加をご希望の方は、下記の参加申し込みフォームよりお申し込みください

(↓Googleフォーム、もしくは→QRコード)

参加申し込みQRコード



参加申し込みGoogleフォーム

<https://forms.gle/jf1cK1saW2qzKg93A>

プログラム内容

12月20日(土) 11:00開始~18:00終了

講演: 患者力を高める教育 ~プラクティカルサイエンスとは
奈良県総合医療センター 東 光久

動画視聴: 患者が主体的に自分の治療に向き合うために医療者が必要な知識とスキルとは
~患者力の向上が治療成果につながる~
ハワイ大学がんセンター 上野 直人

ランチョンセミナー・症例グループディスカッション

12月21日(日) 9:00開始~15:30終了予定

講演: 患者力の向上 ~医療学からのアプローチ
市立奈良病院 教育研修センター 石井 均

ランチョンセミナー・グループディスカッション発表



? お問い合わせ先

セミナー運営事務局: secretariat@oncology-education.or.jp

取材申し込みやオブザーバー希望(医療従事者は不可)の方は、セミナー事務局までご連絡ください。

主催: 一般社団法人 オンコロジー教育推進プロジェクト

協力: JapanTeamOncology Program(J-TOP)

後援: 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム

患者さんに正しく説明しているのになぜか伝わらない、共感や傾聴って実際どうすればいいのか、忙しい中、患者さんとうどう接すればいいのか、そんな悩みを持っている方はぜひご参加ください！

参加後にはきっと、患者さんが理解して行動するまでの医療者の関わり方のコツ、患者さんに本来ある患者力を引き出せるようになります。



ワークショップの詳細はこちら

ワークショップ参加者の声

学んだことを普段の看護に活かしていきたい！

新しい知識、考え方について得ることが出来ました

患者と接する際のヒントになった

実臨床で余裕がなくなり患者さんの個別性を理解しようとできなくなってきたことに気が付けた

患者さんの意思決定を支援していくための良い視点を学ぶことができた

患者さんとの考えのすれ違いがあった場合に、どうすれば良いかがわかりました

複数の職種でグループが構成されており、自分では気づけなかった視点での意見も聞くことができ、視野が広がった

明確でわかりやすく実践しやすい！

一緒に学びましょう！あなたの参加をお待ちしています。

J-HOPE Patient Empowerment Project 実行委員会

実行委員

東 光久（奈良県総合医療センター）
上野 直人（ハワイ大学がんセンター）
岡本 麻子（勤医協中央病院）
小室 雅人（国立健康危機管理研究機構）
島貫裕美子（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター）
下村 昭彦（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター）
立松 典篤（名古屋大学大学院）
榎場 美穂（静岡県立静岡がんセンター）
長谷川友美（奈良県総合医療センター）
守田 亮（秋田厚生医療センター）
和田美智子（秋田厚生連本所）

岡本 渉（広島大学病院）
西森 久和（広島市立広島市民病院）

J-HOPEファカルティ

朴 成和（東京大学医科学研究所附属病院）
東 光久（奈良県総合医療センター）
今村 知世（昭和大学先端がん治療研究所）
上野 直人（ハワイ大学がんセンター）
遠藤 久美（静岡県立静岡がんセンター）
釧持 広知（静岡県立静岡がんセンター）
谷野 裕一（谷野メディカルアソシエーツ/公立那賀病院）
坪井 正博（国立がん研究センター東病院）
山本 信之（和歌山県立医科大学）

アドバイザー

石井 均（市立奈良病院 教育研修センター）
伊藤 高章（上智大学グリーンケア研究所）

J-HOPE Patient Empowerment Program

第7回医療者がリードする「がん患者力向上」のためのワークショップ

本ワークショップでは、実際の臨床現場を想定した仮想症例を用い、参加者がスライドフォーマットに沿って問題点の抽出や支援方針を検討します。グループディスカッションを通じて、患者が主体的に治療・生活を選び取る力＝「患者力（Patient Empowerment）」をいかに支援するかを、医療者自身が体感的に学ぶプログラムです。

プログラムスケジュール

日程：2025年12月20日（土） 11：00～17：10

2025年12月21日（日） 09：00～15：00

会場：エールエールA館6階 貸会議室 ROOM1（広島県広島市）

Length	Begin	End	1日目 2025年12月20日（土）（受付開始 10:30～）	
0:05	11:00	11:05	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長 岡本 渉 広島大学病院 がん化学療法科 教授 / がん治療センター センター長	オープニング 開催挨拶
0:25	11:05	11:30	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長	オープニング イントロダクション 『患者力を高める教育 プラクティカルサイエンスとは』
0:25	11:30	11:55	上野 直人 ハワイ大学 がんセンター センター長	講演1 『チーム ABC と医療者が養う患者力』（録画）
0:05	11:55	12:00	質疑応答	
0:50	12:00	12:50	ランチョンセミナー 調整中	
0:10	12:50	13:00	休憩	
0:10	13:00	13:10	長谷川 友美 奈良県総合医療センター 緩和ケア支援室	課題症例の説明、グループワークの進め方の説明
2:00	13:10	15:10	グループディスカッション①：初回検討（課題の共有と問題点の抽出） 課題症例をもとに、スライドフォーマットに沿って問題点の抽出から支援方針の検討までを段階的に行う。 医療者として患者力（Patient Empowerment）をどのように支援できるかを、多職種で実践的に考える。 ※ グループディスカッション①～③は同一の仮想症例を用いて段階的に進めます。 スライドフォーマットに沿ってグループで討議し、2日目に発表・講評を行います。	
0:10	15:10	15:20	休憩	
0:50	15:20	16:10	伊藤 高章 上智大学 グリーフケア研究所	講演2 『スピリチュアルケア職からみた whole person care』
0:10	16:10	16:20	質疑応答	
0:50	16:20	17:00	グループディスカッション②：中間検討（視点の整理と支援方針の検討）	
0:10	17:00	17:10	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長	クロージング
1日目終了後、全体懇親会（希望者・会費制）を予定しています。				

J-HOPE Patient Empowerment Program
第7回医療者がリードする「がん患者力向上」のためのワークショップ

Length	Begin	End	2日目 2025年12月21日(日)	
0:05	9:00	9:05	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長	オープニング 実行委員長挨拶
0:50	9:05	9:55	石井 均 市立奈良病院 教育研修センター	講演3『教えて石井先生！私たちは、忙しい中、患者さんの語りをどのように聴けばいいのでしょうか（仮）』
0:10	9:55	10:05	質疑応答	
0:15	10:05	10:20	休憩	
1:40	10:20	12:00	グループディスカッション③：最終検討（支援方針の統合と発表準備）	
0:50	12:00	12:50	昼食休憩	
1:00	12:50	13:50	伊藤 高章 上智大学 グリーフケア研究所 石井 均 市立奈良病院 教育研修センター	グループ発表＋講評 各グループが検討した「仮想症例への支援方針」を発表し、講師陣よりフィードバックを受けます。臨床現場での応用を意識した実践的な振り返りを行います。
0:30	13:50	14:20	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長	全体討論
0:10	14:20	14:30	東 光久 奈良県総合医療センター 総合診療科 部長 岡本 渉 広島大学病院 がん化学療法科 教授 / がん治療センター センター長	クロージング
0:30	14:30	15:00	修了証授与と写真撮影	